



## 21年ぶりにMTを国内設定

メルセデス・ベンツSLK200ブルーエフィシエンスは、国内に正規輸入されたメルセデスモデルとしては実に21年ぶりとなるマニュアルトランスミッション搭載車。ユーザーからの「MTでメルセデスを走らせたい」という要望は常にあり、今回はタイミングも合って導入に至ったとのこと。もちろん、発展性や快適性などはATが上回るが、利便性面からとらわれないニーズがMTにはある。



**Q** メルセデス・ベンツSLKにMT仕様を追加されました。安楽志向のベンツにMTって変だと思いませんか、時代の流れに逆らった突然変更なのではないですか？

**A** 確かにメルセデスってMTのイメージはないよね。オレの

中でメルセデスが造るスポーツカーは、どちらかというと汗をかいて楽しむのではなく、カッコよくスマートに乗りこなすイメージだ。確かにMTだと合わない気がして、実際に乗ってみた。クルマ自体はやっぱり既存のメルセデスだったけど、シフトタイミングを計るため自然と回転上昇に気を配り、加速や燃費向上の意識も高まる。運転する楽しみが増えた。

# オレの話聞いて！

## 太田哲也の

連載 第5回

### MTとは“愛”である。

モータージャーナリスト、レーシングドライバー、そしてチューナーと多方面で活躍する太田哲也が、世の中に自らのオビニオンを直球で発信し世相を斬る「オレの話聞いて!」。第5回は、マニュアルトランスミッション(MT)について持論を展開。ATやツインクラッチ技術が大幅な進歩を果たしているにも関わらず、いままなお生き残るMTの魅力語る。

TEXT●太田哲也(Tetsuya Cha)  
PHOTO●市 健治(Kenji Achi)

「突然変更」に関しては、オレは逆に電子制御でデジタル化が進み、その反動でアナログ要素を求める気持ちが強まったんじゃないかなと考えている。だから最近、ちよつとしたMTブームなのではないかな。  
86/BZで売れているのは圧倒的にMTだし、マツダ・ロードスターはデイズルが約7割、そのうちMTが約1割を占めているらしい。主旨の「自分が乗りたくてMTをラインアップした」というコメントが伝わってくる。本心だとしたらイヤ話だね。  
アルファ Romeo・シニョリエッタQVは、販売員から「久々のアルファのMTですよ」と勧められて購入するユーザーが絶えている。また、ルノー車の中で日本で一番売れているのはカンガルーだが、その約2割もがMTだ。  
こうした人たちが何故MTを選ぶのかというと、それはもはや「速いから」ではないだろう。最近はずい





